

質疑事項 回答書

工事名：重要文化財西福寺御影堂保存修理工事（1期）

No.	疑義事項	回答
1	「工事費積算書（金額抜き）」の代価 57、58 にシンク 1 台と水栓 2 個を新設・撤去する数量が記載されていま	その通りです。工事期間中の仮設設備とお考え下さい。
	す。この内容について図面への記載が見当たらず工事中の仮設としての設置と考えて宜しいでしょうか。	
	シンクは L=1800 SUS 製二層シンク一般家庭用として宜しいでしょうか、御指示下さい。	
2	「工事費積算書（金額抜き）」の代価 57 に記載の 単水栓（TKWC35ESA）について、混合水栓仕様 となっておりますが積算書には給湯機器の記載がありません。給湯機器を見込む必要はありますか。見込む場合は下記のとおり見込んでよろしいでしょうか。	給湯器具は込みでお考え下さい。
	「小型電気温水器 REW12A1B1HSCM（手洗用、12L 床置型、温度調節式、ウイークタイマー無し）」	
3	「設計図書」の M-2 に記載の「排気ファン」や「給気ガラリ」の設置について、支持の下地は 100 角 t 2.3 パイプと考えて宜しいでしょうか、御指示 下さい。	下地は C-100×50×20×2.3 となります。

4	「設計図書」の解体-47の衛生器具撤去部に「配管含む」と記載がありますが、図面や積算書からは撤去配管の数量が読み取れません。庫裏までの配管距離と考えて宜しいでしょうか、御指示下さい。	配管距離はそのようにお考え下さい。
5	「設計図書」A-03に防護柵とありますが詳細が不明です。万能鋼板打込+単管補強程度と考えて宜しいでしょうか、御指示下さい。	防護柵はPRF工法を想定しています。
6	「設計図書」W-08 樹木伐採及び枝払いの図面にて23、24と記載されている樹木がありますが伐採・枝払いのどちらでしょうか、御指示下さい。	図面中の23、24は誤表記です。削除をお願いします。
7	「設計図書」7 特記仕様書①の③仮設材料に屋根面 明りとりとありますが素屋根の図面のは見当たりません。無しと考えて宜しいでしょうか、御指示下さい。	その通りです。
8	「設計図書」工程表（参考）にて搬入路拡幅工事が素屋根の建設時と撤去時の期間のみとなっていますが1期解体工事期間中にも同様な搬入路を見込む必要はないでしょうか、御指示下さい。	搬入路拡幅は素屋根建設・撤去期間中に大型重機の走行が必要なことから、拡幅工事を設けております。解体工事期間中は通常の工事車輛での対応を想定しておりますので、搬入路拡幅は見込んでおりません。

9	素屋根組立時の資材ヤード及びクレーン設置位置等について西側シャッター搬入口より南側素屋根面に沿って約3.0mの範囲で単管バリケード区画と考えて宜しいでしょうか。又、敷き鉄板等が必要と思われませんが指定仮設として5×20の鉄板20枚見込んで宜しいでしょうか、御指示下さい。	素屋根組立時に作業上、安全が確保されていれば問題ありません。また、敷鉄板については、代価表41で見込んでおりますので、ご確認ください。
10	「設計図書」A-01 設計概要4の使用材料は一部を除き～すべて新品買い取りとするとありますが、リース品での対応は不可でしょうか、御指示下さい。 (敷き鉄板は延べ10ヶ月ですのでリース品対応、足場材は新品買い取り)	記載があるように、新品買取でお願いします。なお、敷鉄板はリース品対応でも可とします。
11	「設計図書」A-01 設計概要 e.その他工事にて使用する材料、機器において経年劣化による補修・張替え・更新等は別途とするとありますが、A-02 1-9 施工上の留意点では素屋根など仮設物は工事期間を通し、随時点検して必要な補修補強を行うとあります。1期工事以降の修繕については別途と考えて宜しいでしょうか、	1期工事ですべての仮設物の設置期間を想定しておりますので、別途とお考え下さい。

12	「設計図書」 S-10 アースアンカー6ヶ所ありますが 詳細が不明ですですので仕様等を御指示下さい。	工法は「Uターン除去アンター」を使用する。詳細は KBT・仮設アンカー工法の使用ユニット「K5-3」と同等品を想定する。
13	「設計図書」 M-01 の給排水設備平面図では雨水枡、 U字溝、ヒューム管の記載がありますが「工事費積算 書（金額抜き）」に数量書がありません。図面からの 数量積算と考えて宜しいでしょうか、御指示下さい。	図面から数量積算をお願いします。
14	「工事積算書（金抜き）」直接工事費に胡粉塗用足場 948 m ² ありますが、「設計図書」には見当たりません。 内部用足場の為の床面範囲と考えて宜しいでしょうか、 御指示下さい。	床面範囲とお考え下さい。
15	「設計図書」 W-07 内部床養生の方法について ブルーシート+5.5mm ベニヤと考えて宜しいしょう か、御指示下さい。	ご提案頂いた方法を基準とお考え下さい。なお、作業状況に応じて必要な場合は、追加措置をご検討ください。
16	「設計図書」 共仮-04 古材保存小屋 4k×8k は建具、 畳を保管するとなっています。解体木材については 小屋のスペースからみても一部のみ保管と思われ ますので素屋根内での併用と考えて宜しいでしょうか、	解体部材の保管場所は素屋根内での併用を想定します。

	御指示下さい。	
17	「設計図書」共仮-04 仮囲い1で囲ったエリアは工事 資材置場、駐車場等の利用と考えて宜しいでしょうか。	仮囲い1エリアは工事資材置場・駐車場等に利用ください。なお、敷地の復旧費用は不要です。
	又、現在は水田の為、地盤改良及び砕石、鉄板敷きとし 最終工事完了後の修復は次期工事とし別途と考えて 宜しいでしょうか、御指示下さい。	
18	「設計図書」共仮-04 瓦置場、土壁置場はブルー シートにて養生と考えて宜しいでしょうか、御指示 下さい。	瓦置場はシート養生の上に荷崩れしないように歩板等で措置をしてください。また、土壁置場は荒壁土の再利用を想定していますので、練場としての機能も必要です。
19	監理事務所の大きさ及び備品はどの程度必要でしょうか 御指示下さい。	敷地の関係から現場事務所の2階に監理事務所を想定しています。費用については別途協議予定です。